

10月24日（火）

ビクトリア州政府大臣との意見交換

ビクトリア州政府のティム・パラス経済成長担当大臣と意見交換を行うためビクトリア州政府を訪問した。到着後、まずティム・パラス大臣からご挨拶をいただき、横山市長、片山議長から挨拶を行った。

【横山市長 挨拶要旨】

このたびは大変あたたかい歓迎をしていただき、心より感謝申し上げます。

大阪市とメルボルン市とは、1978年の姉妹都市提携以来、様々な分野で交流を重ね、本年提携45周年を迎えた。ビクトリア州政府東京事務所とは、これまでに商談会の開催やミッション団の受け入れなどを通して、積極的に交流を行ってきた。

現在大阪では、府・市・経済界・民間企業等が一体となって、アジア・世界の金融ハブをめざしている。先駆的な金融商品が生まれる都市の実現のため、金融系企業、投資家、フィンテック企業等の誘致に取り組んでいる。日本政府においても、海外企業の参入を促進し日本への投資を呼び込む特区制度の創設を検討しており、大阪はその有力な候補地である。

ビクトリア州の企業が大阪でビジネスをしていただくにあたっては、我々のネットワークを生かして様々なサポートを受けていただけるので、ぜひ多くの有望企業に大阪へ進出いただき、ビジネス交流を進めていただけるよう期待している。

2025年には本市において「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪・関西万博が開催される。いのち、健康を軸に幅広いビジョンを示し、また、「未来社会の実験場」として先端技術の英知を集め、人類共通の課題解決につながる場となればと考えているので、ぜひビクトリア州の皆様にもご来阪いただきたい。

今後とも州政府との交流を通してさらなる経済交流の促進に努めていきたいと思っており、引き続きのご支援をお願いしたい。

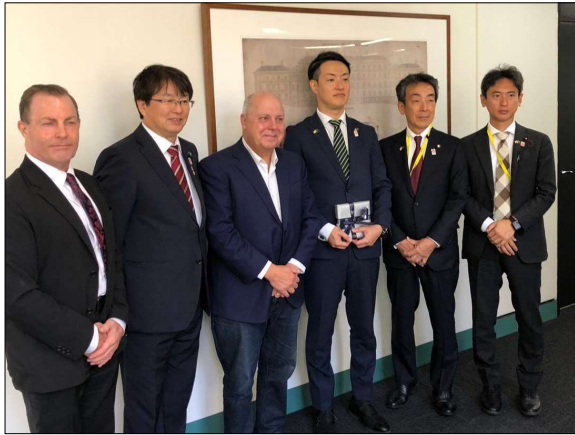
【片山議長 挨拶要旨】

大阪市とメルボルン市の姉妹都市交流にご理解とご協力を賜り、大阪市民を代表して心からお礼申し上げます。

両市は、経済、文化、観光、教育、港湾など様々な分野における交流を深め、緊密な関係を構築している。

2025年には「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマのもと大阪・関西万博が開催される。最先端技術などの英知が集結され、様々なイノベーションをもたらすことが期待されている。メルボルンでは最先端の技術を学ばせていただき、万博を含め、今後の大阪市の施策の参考とさせていただければと考えている。

挨拶の後、大阪のビジネスポテンシャルとインセンティブについて紹介し、イノベーション分野における今後の提携強化について確認した。



ティム・パラス経済成長担当大臣と



記念品交換

スワンストンストリート視察

ビクトリア州政府を退出後、パーク・ストリートからトラムに乗車し、前日に姉妹ストリート協定を締結したスワンストンストリートを観察した。

メルボルン市ではトラムが発達し、市の中心部から郊外まで張りめぐらされている。運賃は停留所の自動販売機などで購入できるプリペイド式のカードで支払うが、フリートラムゾーンと呼ばれる市中心部の区域では無料で乗車できる。



市街を走るトラム（路面電車）

メルボルン市の職員から姉妹ストリート記念銘板の説明の後、スワンストンストリートの視察を行った。スワンストンストリートは、メルボルン市の中心を南北に走るメインストリートである。1986年から歩行者と自転車、トラムを優先とする空間再編が行われ、2013年には自動車の通行を制限し、歩行者と自転車の利便性と安全性の向上をめざした道路空間への再編が行われている。



姉妹ストリート記念銘板

スワンストンストリートの空間再編のプロジェクトは、車両の通行を制限する試行を繰り返し、市民の意見を取り入れながら、歩道の拡張工事を行うなど段階的に進められた。

歩道に歩行者を妨げるものがないようにするため、自転車の駐輪場所や街路樹は歩道の外側に配置されており、また、街路樹の水やりの自動化やごみ箱の収集時期の把握など、センサーの利用により業務の効率化も図られている。



スワンストンストリート視察の様子

メルボルン大学訪問

次に、メルボルン大学を訪問し、今回の訪問に合わせて実施された「第5世代移動通信システム（以下、「5G」という。）通信等とXR技術（VRやARなどの技術で構成された「仮想世界と現実世界を融合し、新たな体験をつくり出す」技術の総称）を活用した遠隔による歯科医療教育支援の実証実験」を見学した。この実証実験は5Gを活用して、オーストラリアのメルボルン大学と約8千km離れた大阪の咲洲エリアの「5G X LAB OSAKA」をつないで行われた実験であり、大阪市として初めての試みであった。

実験に先立ち、ジャスティン・ゾベル副学長よりご挨拶をいただき、続いて横山市長から挨拶を行った。

【ジャスティン・ゾベル副学長 挨拶要旨】

大阪市・メルボルン市の姉妹都市提携の節目を祝うこの機会にメルボルン大学にお迎えできましたことをうれしく思う。

また、姉妹都市の関係だけではなく、大阪大学とグローバルナレッジパートナーとしての関係を紹介したいと思う。これは昨年、正式に結ばれたものであるが、災害復旧、サステイナブルな建設などのワークショップを行っており、今後の長期的な研究協力の礎が築けたと思う。このような協力を行うことによって、世界的にも質の高い教育・研究協力の関係を結ぶと思う。

【横山市長 挨拶要旨】

大阪市とメルボルン市とは、1978年に姉妹都市提携し、経済、文化、教育、スポーツなど幅広い分野で交流を重ねてきた。メルボルン大学とは、2015年に大阪公立大学医学部が貴校の医学部とMOU提携を行うなど交流を行ってきた。今回の訪問が両都市の交流のさらなる発展へつながるきっかけとなることを期待している。

現在、大阪市では、官民連携により2020年に設置した「5G X LAB OSAKA」を拠点に、5G関連ビジネスの創出を推進し、様々なソリューションが開発されている。本日、姉妹都市の周年記念事業として実施するこの実証実験は、大阪市としても初の試みである。今回の実証実験が実施できるのは、副学長をはじめ、関係者の皆様の多大なるご尽力の賜物であり感謝申し上げます。

実証実験では、バーチャル空間に3Dで表現した歯のモデルを症例として配置し、メルボルン大学歯学部関係者と5G X LAB OSAKAにいる日本の大学の歯科医師等が5G通信等とXR技術を使って症例を共有しながら議論を交わした。

現在、歯科医師の臨床現場における診断・治療技術の向上は、熟練の医師などとの対面が中心になっているが、その多くが組織完結型であり、所属する組織の歯科知識・技術に依存

しているという課題がある。このような背景から、国や地域に依存しない遠隔地からの指導や支援、症例の共有などが求められており、その課題解決の一環として本実証実験が実施された。実証実験の後、横山市長、片山議長からそれぞれ感想を述べた。



遠隔による歯科医療教育支援の実証実験会場の様子

【横山市長 感想要旨】

姉妹都市間における本日の実証実験をきっかけとして、歯科領域に限らず、医療分野をはじめ様々な産業分野においても、国や地域を越えて、先端技術を活用した社会課題の解決に資する先進的な取り組みが促進されることを期待するとともに、大学の皆様がこうした取り組みを推進できるよう、これからも我々も交流を深めてまいりたいと思う。

2025年に大阪・関西万博が開催されるが、医療がテーマとなっているので、ぜひ貴校の皆様にも万博にお越しいただきたいと思う。今後も大阪、メルボルンのきずなをさらに深めていくためにも、我々としてもしっかりサポートしていきたいと考えているので、今後ともよろしく願います。

【片山議長 感想要旨】

本日、最先端技術である5G通信とXR技術の活用事例について学べたことは、大変意義深く、今後の大阪市の施策の参考としていきたいと考えている。今回この実証実験を見学できたことに感謝する。

実証実験終了後、メルボルン大学の学生の案内により、大学構内の展示を視察した。



大学構内の視察の様子

ビクトリア州総督府表敬訪問

ビクトリア州総督府到着後、横山市長、片山議長からそれぞれ挨拶を行い、マーガレット・ガードナー ビクトリア州総督からご挨拶をいただいた。

【横山市長 挨拶要旨】

このたびは大変あたたかい歓迎をしていただき、心より感謝申し上げます。

日ごろからビクトリア州政府東京事務所と緊密に連携しており、これまで学校交流事業をはじめ、日本語スピーチコンテスト入賞者の受け入れや学生の音楽バンド同士の交流、医療関係ミッション団の受け入れ等、様々な交流事業を行ってきた。ビクトリア州政府の姉妹都市交流へのご支援に改めて感謝申し上げます。

2025年には本市において「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪・関西万博が開催される。いのち、健康を軸に幅広いビジョンを示し、また、「未来社会の実験場」として先端技術の英知を集め、人類共通の課題解決につながる場となればと考えているので、ぜひビクトリア州の皆様にもご来阪いただきたい。

【片山議長 挨拶要旨】

平素より大阪市とメルボルン市の姉妹都市交流にご理解とご協力を賜り、大阪市民を代表して心からお礼申し上げます。

両市は、経済、文化、観光、教育、港湾など様々な分野における交流を深め、緊密な関係を構築している。2025年には大阪・関西万博が開催される。様々なイノベーションをもたらすことが期待されている。メルボルンでは最先端の取組を学ばせていただき、万博を含め、大阪市の今後の参考とさせていただければと考えている。

【マーガレット・ガードナー総督 挨拶要旨】

本日このような機会をもてたことを大変光栄に思う。

大阪・関西万博については大変楽しみにしている。大阪とメルボルンの関係、それから日本とオーストラリアの関係には、非常に深いつながりを感じている。1880年から81年にかけて、メルボルンにおいて南半球で初めての万博が開催され、その当時に建てられた建物などが今もここメルボルンに残っている。1880年というのは姉妹都市提携よりかなり昔になるが、当時、日本も万博に参加しており、その際にいただいたものが博物館で展示されている。姉妹都市提携45周年を皆様とお祝いしているが、実はその45年よりもずっと昔から関係を構築してきている。

今回のメルボルン、そしてオーストラリア訪問の機会に医療分野など我々の得意分野を見ていただければと思う。我々も、日本から学ぶことはたくさんあり、日本を訪れる機会を常に楽しみにしている。

挨拶の後、日本とオーストラリアの両国のつながりにおける今後の可能性やそれぞれの先進分野における連携などについて談話し、メルボルン市及びビクトリア州との交流促進を図ることができた。



ビクトリア州総督府にてマーガレット・ガードナー総督と

在メルボルン日本国総領事主催意見交換会

在メルボルン日本国総領事を中心に、メルボルン市及び在メルボルン日系企業関係者と大阪市・メルボルン市の姉妹都市交流の促進に向けた意見交換を行うため、在メルボルン日本国総領事館を訪問した。まず初めに、横山市長、片山議長から挨拶を行った。



在メルボルン日本国総領事館にて島田順二総領事と

【横山市長 挨拶要旨】

今回のメルボルン訪問にかかり、事前準備の段階から、総領事館の皆様には多大なサポートをいただき、改めてお礼申し上げます。

大阪市とメルボルン市とは、1974年の姉妹港提携、1978年の姉妹都市提携に加え、1999年にはビジネスパートナー都市提携を締結し、経済・文化・教育・スポーツなど幅広い分野で交流を重ね、姉妹都市提携45周年を迎えた。とりわけ島田総領事におかれては、大阪市とメルボルン市との姉妹都市交流に一方ならぬご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今回のメルボルン市訪問を通じて、両都市間のさらなる交流促進や大阪・関西の魅力発信を行うことができると考えている。特にイノベーションをはじめとする経済分野での交流を進めたいと思っており、本日お集りの企業の方々には、是非、現地の状況等についてご教示いただければと思う。

【片山議長 挨拶要旨】

島田総領事並びに総領事館の皆様方におかれては、日頃から大阪市とメルボルン市の姉妹都市交流推進にご協力を賜りありがたく思う。

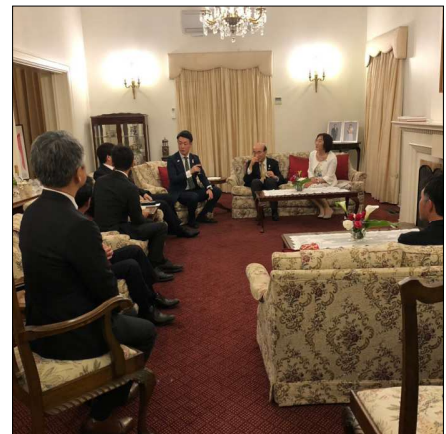
姉妹都市提携 45 周年記念事業に向けてご協力いただいたこと、また、このような場を設けていただいたことに、厚くお礼申し上げます。

大阪市とメルボルン市が、1978 年に姉妹都市提携を行って以来、経済、文化、学術などあらゆる分野で交流が深まっていることを感じている。両市の 45 年間にわたる交流をさらに緊密なものとし、友好関係をより一層発展させるためにも、本日ご出席の皆様方のお力添えが必要なのでよろしく願います。

2025 年には、大阪・関西万博が開催される。ぜひ、大阪にお越しいただき、活力あふれるその姿を目の当たりにしていただければと思う。

島田総領事及び在メルボルン日系企業関係者との意見交換を通じて、メルボルン市がめざしている施策の方向性や現地での移動交通手段の実態、物価・賃金状況など様々な観点で現地の事情を聴取した。

また、大阪・関西の都市魅力について、メルボルン在住の方々に理解を促し、現地における PR の協力を依頼した。



意見交換の様子